

・ 経済／社会基盤の充実

(役割分担) 行政にお願いすること、企業などに働きかけること	実施の時期			
	実施中	3年以内	6年以内	10年以内
<ul style="list-style-type: none"> 補助制度の情報提供、アンテナショップでの支援(行政) 学習への組み込み、遠足などでの活用(学校など) 	一部○	○	○	
<ul style="list-style-type: none"> 各種届出指導、補助制度の情報提供、ブランド認定(行政) 取り組みへの協賛、展示や販売場所の提供(企業など) 		○	○	
<ul style="list-style-type: none"> 先進例紹介、補助制度の情報提供、広報支援(行政) 取り扱いの協力(企業など) 		○	○	
<ul style="list-style-type: none"> 先進例紹介、広報支援(行政) 展示や販売場所の提供(企業など) 	一部○	○	○	
<ul style="list-style-type: none"> 補助制度の情報提供、ネットリンクサポート(行政) 取扱窓口の協力と支援(地元企業など) 		○	○	
<ul style="list-style-type: none"> 施設整備や補助金の検討、アンテナショップでの支援(行政) 土地の提供、事業への協賛(関係者、地元企業など) 		○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 先進例紹介、補助制度の情報提供(行政) 		○	○	
<ul style="list-style-type: none"> イベントの広報支援、教育旅行情報の提供(行政) 教育旅行の導入検討(学校など) 一団体(企業)一行動の協力、教育旅行協力、連携協力(企業など) 	一部○		○	○
<ul style="list-style-type: none"> 運動場に関し、拡張工事と駐車場整備の検討(行政) 体験施設に関し、既存施設の使用や施設整備の検討(行政) キャンプ場に関し、学習への取り込み、遠足活用(学校など) 	一部○	○	○	○
<ul style="list-style-type: none"> 図書館に関し、既存行政施設の使用許可(行政) 福祉等施設に関し、地元との話し合い、整備の検討(行政) 			○	○
<ul style="list-style-type: none"> 道路整備の検討と実施、バス運行支援、法制上の調整(行政) バス運行の協力(関係企業) 	一部○	○	○	

行動計画・役割分担 表1 「生きがいのある」まちづくり 《産業

プラン	具体的な取り組み	(役割分担) 地域ですること・できること
1 特産品を生みだすまちプラン	(1) ワザの掘り起し・継承、製品づくり	ア 行政区ごとの「隠れた名人ワザ」の発掘(紹介、伝授など) イ 伝統技能の継承(小中高生の体験、若者対象の講座など) ウ 伝統素材・伝統技術での製品化、各世帯の一品所持運動
	(2) 農産物の特産加工品の開発	ア 集落ごとの加工品の調査と普及(野菜や果実の加工など) イ 既存施設活用などによるお金をかけない共同加工所の整備 ウ 加工の試み(米パンやどぶろく調査、手づくり健康品など)
	(3) 付加価値化の取り組み	ア 里山活用の山菜栽培、木を生かす物づくり、倒木流木の活用 イ 遠野米の産地化(選定、命名など)、適地もち米の調査 ウ 遠野の気候や土質に合う畑作物の調査と栽培[=産地化]
2 物を創意で売るまちプラン	(1) 本物志向のPR活動	ア 無農薬、有機栽培の推進とPR、いわき遠野ラベル開発 イ 遠野食材のPR(料理教室の開催、農家レストランなど) ウ 手づくり製品のPR(地区内外の実演即売、体験ツアーなど)
	(2) 工夫した宅配・通販システムづくり	ア 地場産品通販用の共同ホームページの立ち上げと運用 イ 米、野菜などの「遠野地場産品パック」のセット販売 ウ 遠野出身者への宅配に地元広報誌を同封[=ふるさと便]
	(3) 話題を提供しながらの施設整備	ア 既存施設活用などによるお金をかけない共同産直所の整備 イ 町内直売所でスタンプラリー、アンテナショップの設置 ウ パイパス沿いに大駐車場構想の検討(川の駅構想も)
3 資源をみかくまちプラン	(1) 山里利用の振興	ア 信号機オーナー制の導入(柿=赤、梅=青、ゆず=黄) イ 水生生物の活用(カジカ、ドジョウ、沢ガニ、タニシなど)
	(2) 交流拡大による振興	ア 農村交流推進(教育旅行、他地区連携)、ホタルの里づくり イ いちの検討(盆市、暮市、朝市など)、商店街の行灯の検討 ウ 遠野“らしさ”強調の商店街構想やアウトレット構想の検討
	(3) 既存施設の活性化による振興	ア キャンプ場対策(イベント開発、学校への利用呼びかけなど) イ 既存施設活用などによるお金をかけない体験施設の整備 ウ 市民運動場の水捌けの良さアピール(調査、要望など)
4 基盤を整備するまちプラン	(1) 心のよりどころとなる施設の整備	ア 家庭でねむる本の集約と貸出[=遠野手づくり図書館] イ 中心となる福祉等施設の整備(必要性検討、要望活動など)
	(2) 道路の整備充実と地域の足の確保	ア 道路整備の要望活動(農免道路早期開通、県道整備など) イ 地域の交通手段の検討(地域周遊バス、通学バスなど) ウ 商店街通りの検討(時間帯、一方通行、大型はバイパスなど)

づくり 《自然と環境の保護・保全》

(役割分担) 行政にお願いすること、企業などに働きかけること	実施の時期			
	実施中	3年以内	6年以内	10年以内
・パトロール監視強化の検討、監視カメラの設置(行政) ・清掃活動に係る設備類の協力(地元企業など)	一部○	○ ○	○	
・広報支援(行政) ・社会活動としての原風景保全支援(市内企業や大手メーカー)	一部○	○ ○		
・レジ袋有料化の更なる推進、脱石油製品利用策の検討(行政) ・家畜の糞や野菜リサイクル品の活用(地元農家など)		○	○ ○	
・間伐や植栽の補助、ネットワークサポート(行政) ・流域活動支援(鮫川村、古殿町、いわき市田人・勿来地区)	一部○ 一部○	○ ○	○	
・公園運営のソフト整備支援、公園トイレの整備など(行政) ・地域連携の協力検討(周辺エリアの団体など)			○	○ ○
・水質検査道具の提供、補助制度の住民 PR、事業推進(行政) ・水源保全活動の支援(水道事業)	一部○ 一部○	○ ○ ○		
・青写真づくりサポート、買取や借用の支援(行政) ・用地の協力(関係者など)		○	○ ○	
・地域資源としての広報、絶滅危惧種保存に係る補助(行政) ・紅葉時のツアーの企画と実施(関係企業など)	一部○ 一部○	○ ○		
・アダプトロード契約に基づく活動支援、イベント広報(行政) ・花の種の寄付、植栽応援(地元企業など)		○ ○	○	
・補助金情報の提供(行政) ・学習への取り込み、遠足活用(学校など)	一部○	○	○ ○	
・道路標識や道路整備の検討(行政) ・ヘリテージや健康志向ツアーの企画と実施(関係企業など)		○ ○	○	

行動計画・役割分担 表2 「きもちのいい暮らし」ができるまち

プラン	具体的な取り組み	(役割分担) 地域ですること・できること
1 自然を大切にす るまちプラン	(1) 不法投棄・ごみ 散乱の撲滅	ア 環境啓発型ボランティア清掃(活動の普及、広報など) イ 不法投棄防止パト強化(外勤者や散歩者へ協力依頼など) ウ 環境美化の日の創設(啓発看板、ごみ拾い、草刈など)
	(2) 里山活動による 環境づくり	ア 里山生活学校の開催(炭焼き、薪収穫、間伐など) イ 遊休地、荒廃地などへの植栽活動、企業連携の保全活動
	(3) 遠野版エコ運動	ア 脱石油運動(炭、薪の使用、竹かごの買物バック利用など) イ エコの日の創設(自転車の日、行灯の日など) ウ 家畜の糞や野菜残渣のリサイクルの推進、ごみ分別の徹底
2 天水循環を守る まちプラン	(1) 水源を守れ!	ア 水際イベントの開催(水生生物観察、水質同時調査など) イ 鮫川流域ネットワークへの参加と流域連携の活動 ウ 間伐の促進、広葉樹植栽による水源涵養
	(2) 河川関連施設の 整備	ア 河川敷公園の整備(内容検討、生かし方など) イ ダム周辺の散策路新設や四時川との連携化の構想づくり ウ 天然遡上アユの復元=高柴ダム魚道の必要性アピール
	(3) 川を汚さない 生活	ア 自然にやさしい台所利用の啓発、定期的な水質調査活動 イ 農業集落排水事業への参加促進と整備促進 ウ 合併浄化槽の有効性や補助制度のPR 活動と設置推進
3 自然と親しむま ちプラン	(1) 遠野のシンボル としての自然公園 整備	ア 家庭にある花木などの寄付運動 イ 一株オーナーの募集、一般募集による植栽の実施 ウ 森林を借りて手づくりで公園整備(まるごと～山花公園)
	(2) 「ザ・龍神峡」作戦	ア 組織の強化、定期的な草刈り、伐採、ごみ回収などの実施 イ サツキの増殖、希少植物「絶滅危惧種」の調査と保護
	(3) 花いっぱい運動 (アダプト・ロー ド)の展開	ア 家庭からの花の持ち寄りによる一斉植付け運動 イ ミツマタなどの植栽法の学習、遠野全体で取り組む花の選定 ウ 「とおのののはな」展覧会の開催(写真展なども)
4 里山を体で感じ るまちプラン	(1) 五感で感じる里 山体験教室	ア こんにゃく、みそ、杵餅、漬物などの「里山を味わう会」 イ 田植えと稲刈り、野菜作りなどの「野良仕事を体験する会」 ウ セミ、カエル、ホタル、クワガタなどの「父と子の背戸教室」
	(2) 自然の中で健康 づくり	ア 連携コース(滝富士と八潮見城)や鉱山跡などの散策会 イ 深緑に包まれた屋外フィットネス教室(キャンプ場など) ウ 山里サイクリングコース選定、リバースポーツの普及活動

《福祉・教育・文化の充実》

(役割分担) 行政にお願いすること、企業などに働きかけること	実施の時期			
	実施中	3年以内	6年以内	10年以内
・ 時間外窓口や施設開放等のサービス検討(行政)			○	
・ ネット環境整備の検討と実施(関係企業)			○	
・ 地域間交流情報の提供、市営住宅整備の検討(行政)		○		
・ 在宅ワークの情報提供、遠野在住者の採用(地元企業など)		○		
・ 空家情報の発信と整備の支援、体験ツアーの開催支援(行政)		○		
・ ボランティア組織の活動支援(企業など)			○	
・ 先進事例紹介(行政)		○		
・ 外灯の「一家一灯取付運動」の協力(企業など)			○	
・ 危険箇所の情報提供(行政)		○		
			○	
・ 啓発看板、幕の提供(行政)		○		
			○	
・ 一般向けの行事共催(行政)	一部 ○	○		
・ 子ども向けの行事共催(学校など)		○		
・ 空き教室の開放、立上の財政支援(行政)				
・ 他取組例の紹介、広報支援、パートナーとして協働(行政)			○	
・ 協賛支援など(企業など)				
・ 高齢者の安否確認システム構築の検討(行政)				
・ ボランティア情報の提供、活動マニュアル作成支援(行政)				○
・ 財政的な支援、地域マネー加盟など(企業など)				
・ 役所事業とのタイアップ、場所の提供(行政)	一部 ○	○		
・ 話しあう場所の提供、道路敷き等の使用許可(行政)	一部 ○	○		
・ 商業施設の地域開放(地元企業など)		○		
・ ボランティア保険適用、市史資料提供、高校改革検討(行政)	一部 ○	○		
・ 高校活性化の協議や協力(地元企業、団体など)		○		
			○	
・ 活動費の補助、記録機器の整備補助(行政)		○		
・ 副読本やカレンダーへの広告掲載(地元企業など)			○	
・ 補助金情報の提供、他地区での配布協力(行政)		○		
・ 出版物への広告掲載(地元企業など)		○		

行動計画・役割分担 表3 「健康な心と体」をはぐくむまちづくり

プラン	具体的な取り組み	(役割分担) 地域ですること・できること
1 住みよいまちプラン	(1) 住環境の充実促進	ア インターネット環境の整備要望(光回線整備、ADSL改善) イ 役所の時間外窓口開設、学校図書館の開放、生活水調査など
	(2) 若年者の定住と交流の促進	ア 男女が出会える「見合い広場イベント」の開催 イ 青年会、子ども会等の活性化による交流促進 ウ 雇用につながる素材調査(先進例調査、紹介、斡旋など)
	(3) UJ ターン者の受け入れ推進	ア 世話人の組織化、手引書作成、体験ツアーなどの開催 イ 空き屋の調査と登録、空き屋を借家できるような条件整備
2 安心安全な生活 が送れるまち プラン	(1) 犯罪のないまちづくり	ア 悪徳商法啓発、青色防犯灯やあいさつ運動の事例調査など イ 犬の散歩者への協力呼びかけ(わんわん防犯隊など)
	(2) 防災の環境づくり	ア 防災組織の訓練継続と強化、防災関係団体の連携強化 イ 行政区ごとの防災マップ作成(断層、洪水、避難所など)
	(3) 交通事故ゼロの里づくり	ア 危険箇所付の交通安全マップ作成(子ども視点の調査で) イ 無事故記録の行政区別対抗戦の実施、町なか通行規制など
	(4) 体が基本! みんなで健康づくり	ア 健康体操のサロン活動充実、地区ぐるみラジオ体操の普及 イ 食育の普及活動(講演会開催、普及チラシ作成など)
3 人と人がつながる まちプラン	(1) 安心して共稼ぎができる仕組みづくり	・対象の仕事(子育て、家庭仕事、まちづくり)の需要調査 →団塊世代、保護者等によるボランティア団体の立ち上げ →登録制度(サポーター登録)、地域マネー制度の整備 →空き教室や空き店舗などを活用した活動拠点の確保
	(2) みんなで支え合う仕組みづくり	《語り聞かせ隊、子ども守り隊、まちかど案内し隊、お年寄り応援隊、家庭仕事し隊、果樹見張り隊など》
	(3) “わ”(話、和、輪、環)づくり	ア お年寄りと子どものイベント開催、道端にベンチなどの配置 イ 言葉によるふれあい会(遠野弁語り部、大ぼら大会など) ウ 来訪者や出身者による応援組織「遠野ファンクラブ」の結成
4 人が育ち、文化 が育つまち プラン	(1) 次世代リーダーの育成	ア 一人一活動推進(イベント統一化、児童生徒の総参加など) イ 児童生徒のまちづくり参加(イベント参加や旧跡散策など) ウ 遠野高校の中高一貫や専門科構想を描く→入学促進
	(2) 文化・芸能の保存・伝承	ア 歴史資源の保存(寺社、石塔、鉱山跡等のマップや本など) イ 文化の継承(じゃんがらや伝説の保存、歳時記映像化など)
	(3) 地区情報の受発信と広報	ア 地区記者による「広告付地区情報誌」発行、アンケート調査 イ 標語やロゴマークの募集、読まれる回覧・チラシづくり

付録

データで見る遠野町



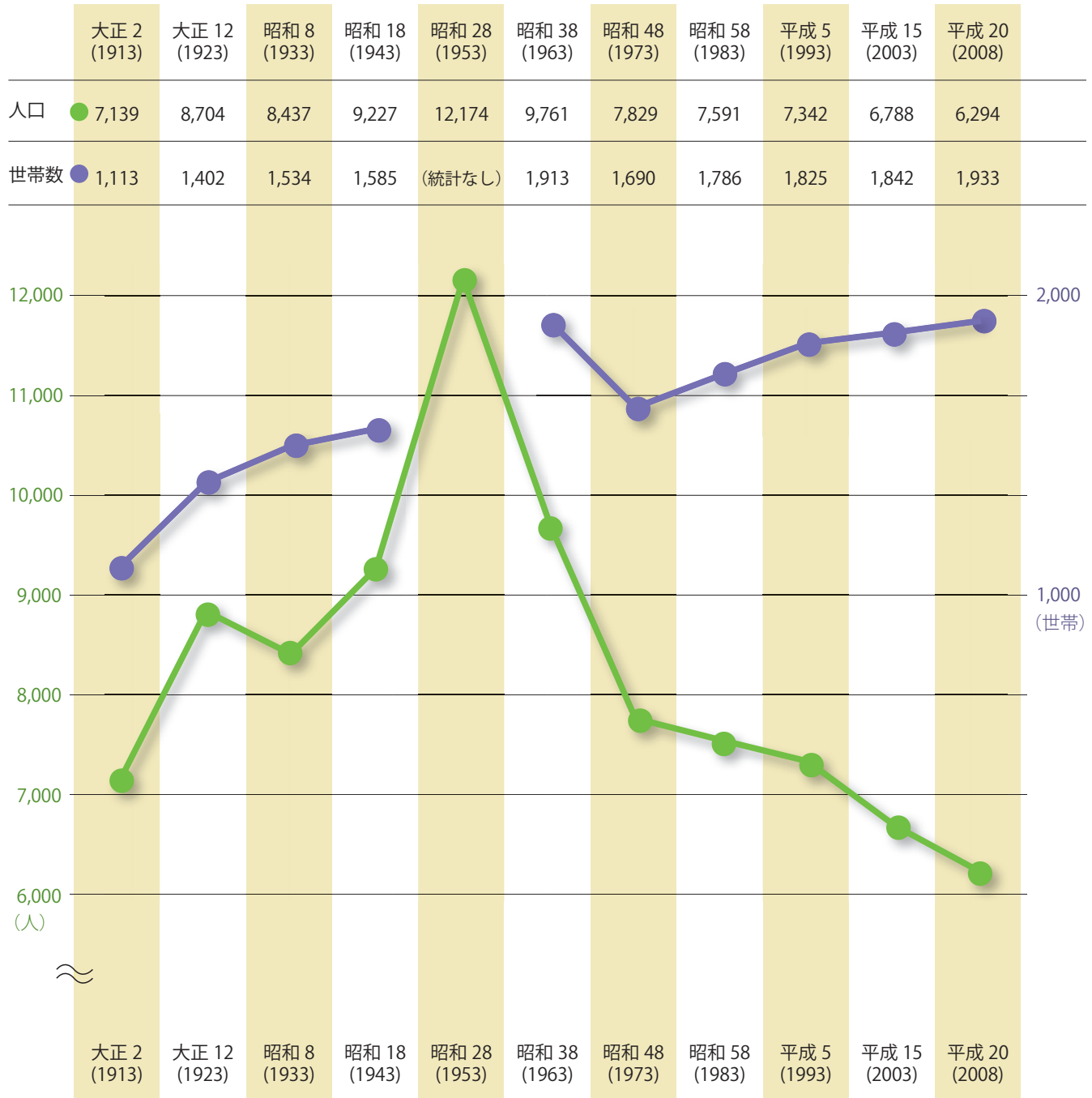
遠野町の現況について

目で見ると、過疎化、少子化、高齢化

人口と世帯数

過疎化(人口推移)

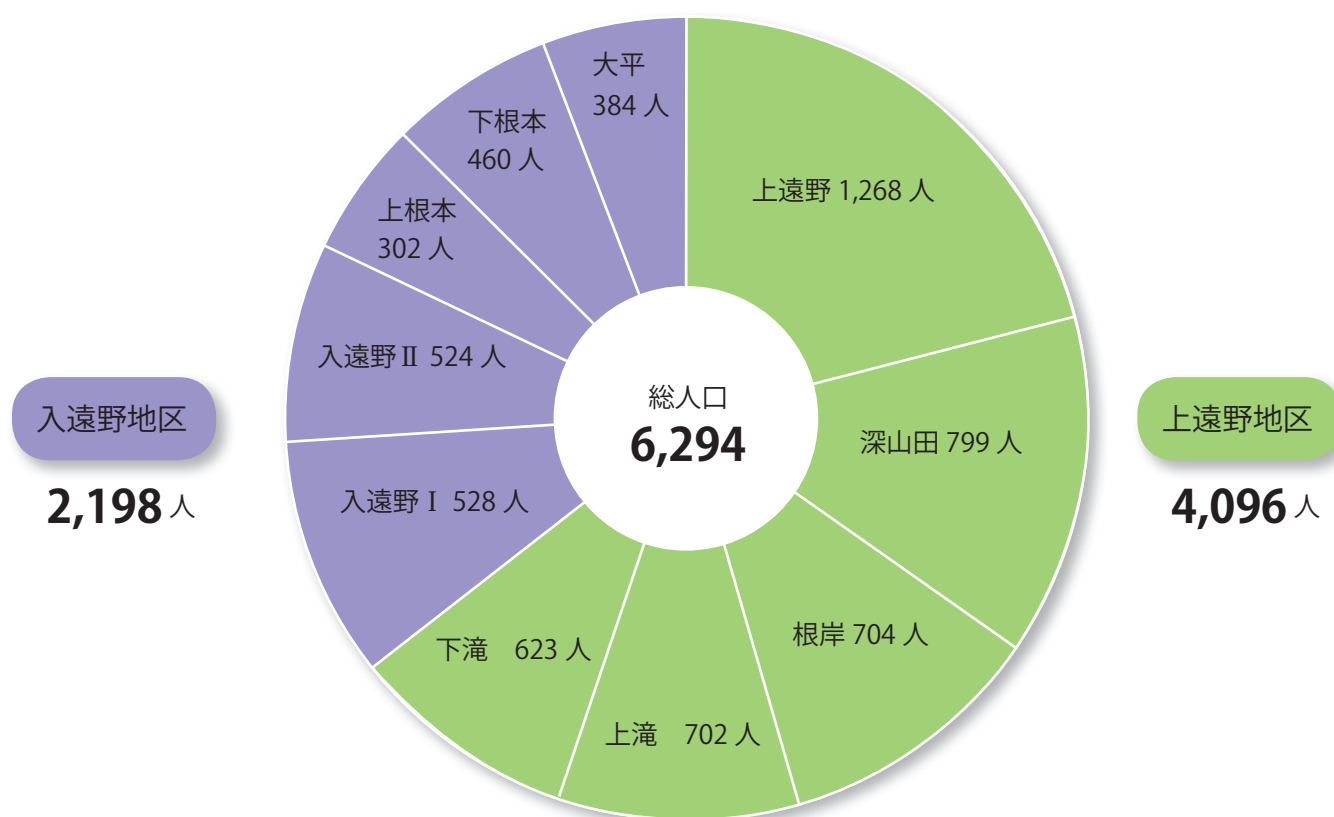
遠野の大正2年～平成20年までの統計(いわき市の人口表より。各年10月1日)



各地区ごとの人口はどうなっている？

遠野の行政区別世帯数、人口(平成 20 年 10 月 1 日現在。いわき市の人口表から推計)

区分	世帯数	総人口
遠野町合計	1,933	6,294
上遠野	342	1268
深山田	224	799
根岸	223	704
上滝	224	702
下滝	207	623
上遠野地区計	1,220	4,096
入遠野 I	177	528
入遠野 II	167	524
上根本	102	302
下根本	152	460
大平	115	384
入遠野地区計	713	2,198

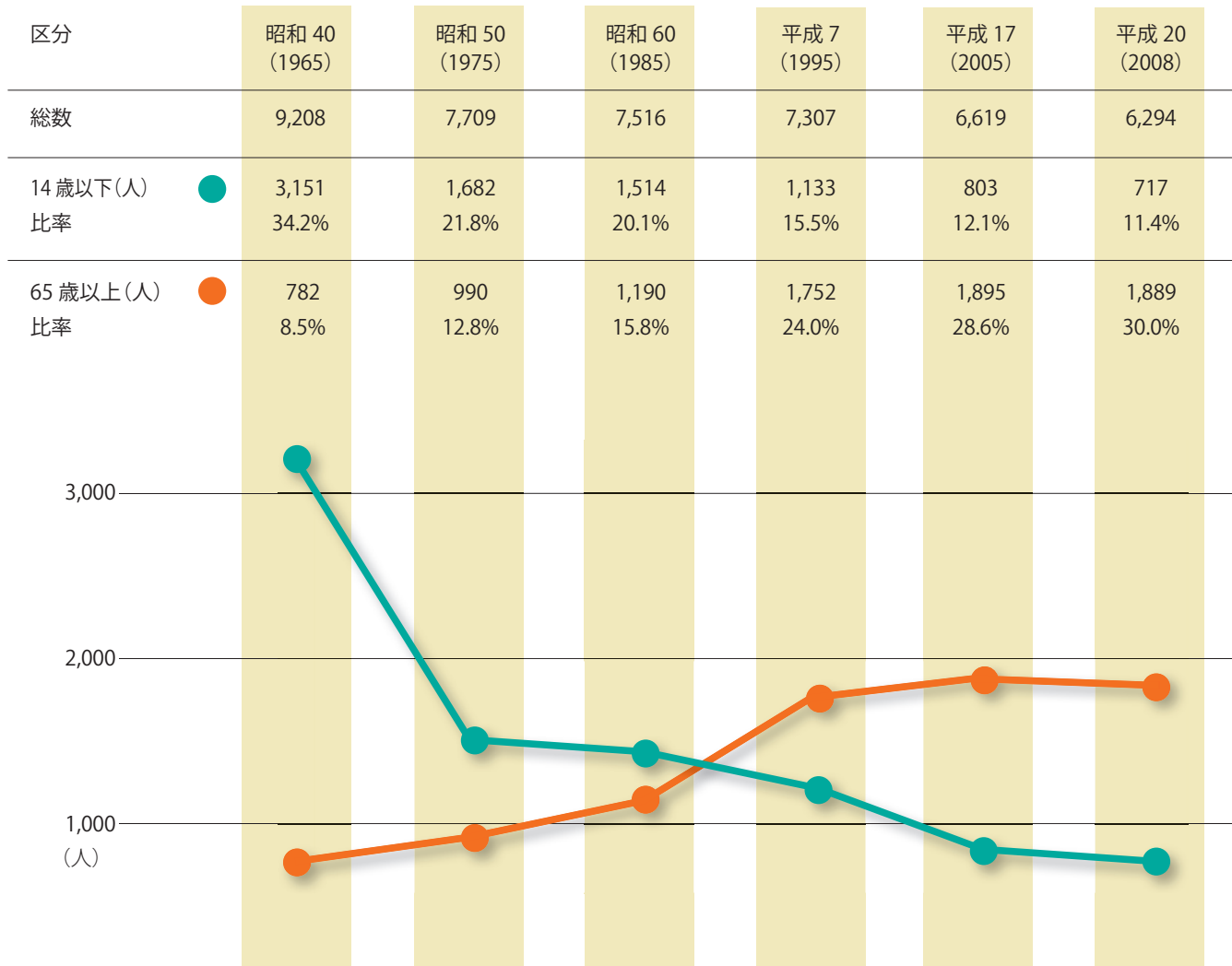


遠野町の現況について

目で見る、過疎化、少子化、

高齢化(人口の年齢別比率)

遠野の 65 歳以上、14 歳以下人口の推移 (国勢調査報告より。平成 20 年は推計値)



少子化(出生者数と死亡者数)

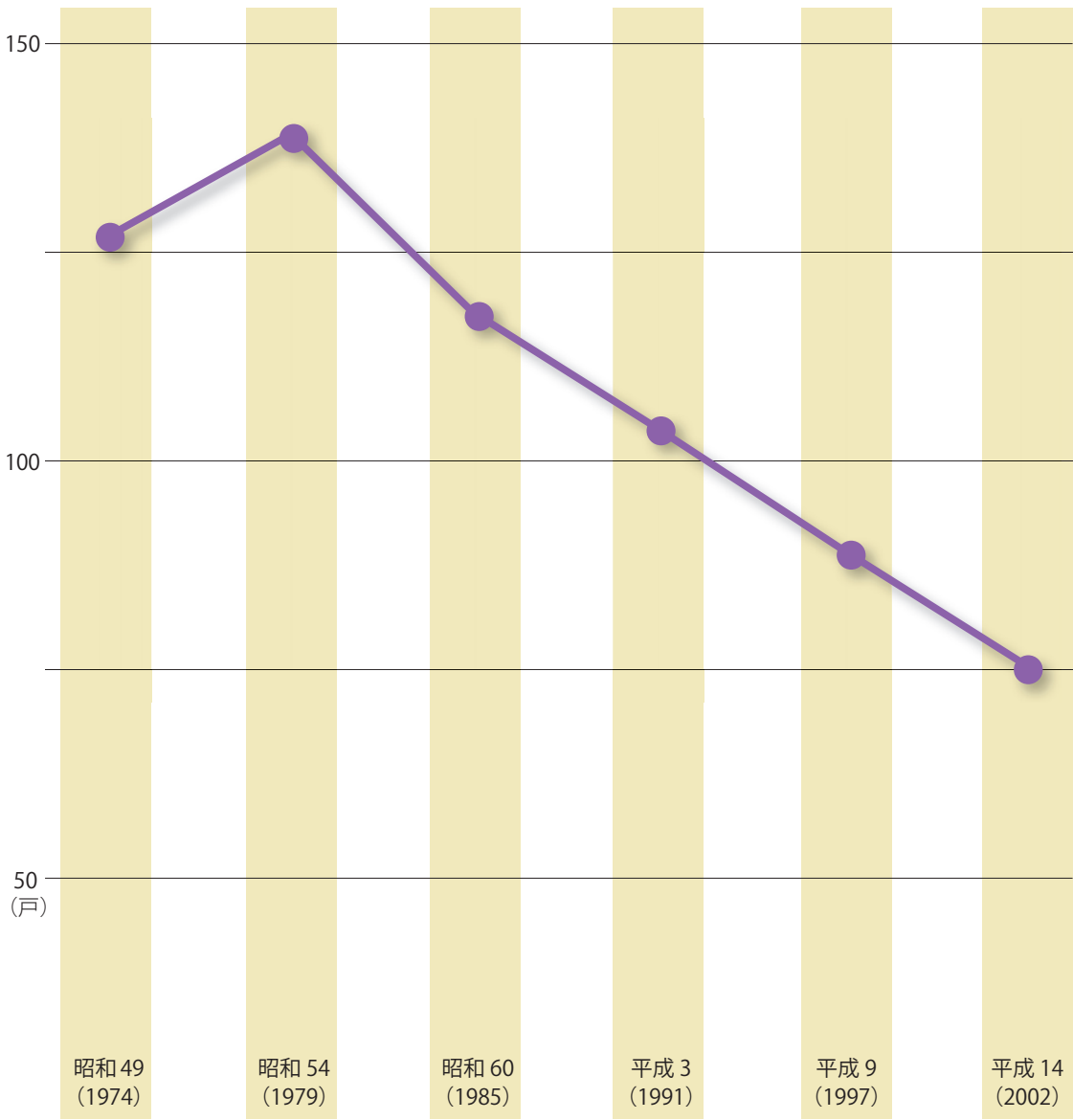
遠野の年間出生者数と死亡者数の推移(いわき市現住人口調査結果表より。各年度とも4月1日～3月31日の合計)

区分	平成 15 (2003)	平成 16 (2004)	平成 17 (2005)	平成 18 (2006)	平成 19 (2007)	平成 20 (2008)
出生者数(人)	42	39	39	32	30	36
死亡者数(人)	103	101	102	102	100	88
自然増減(人)	-61	-62	-63	-70	-70	-52

商業の実態

遠野の小売業の推移(いわき市統計書、「いわき市の商業」より)

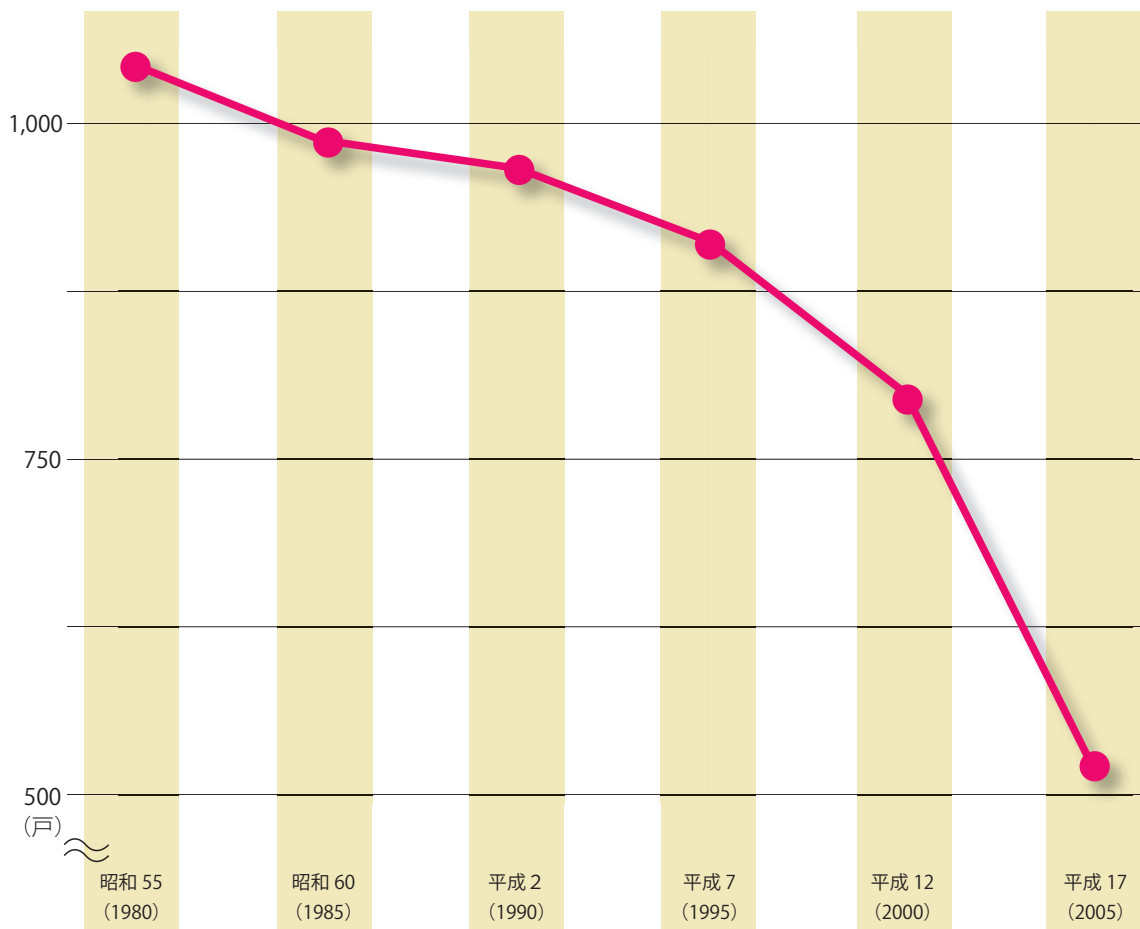
区分	昭和 49 (1974)	昭和 54 (1979)	昭和 60 (1985)	平成 3 (1991)	平成 9 (1997)	平成 14 (2002)
商店数 ●	126	133	118	108	87	75
法人	8	9	14	21	21	21
個人	118	124	104	87	66	54
従業者数(人)	225	282	300	337	316	325
売場面積(m ²)	3,421	4,057	3,507	3,944	3,412	5,358
年間商品販売額(万円)	127,925	204,357	270,680	479,894	403,799	343,651



農業の実態(農家の数と農地面積)

遠野の「農家・農地面積」の推移(「いわきの農業」より)

区分		昭和 55 (1980)	昭和 60 (1985)	平成 2 (1990)	平成 7 (1995)	平成 12 (2000)	平成 17 (2005)
田	農家数(戸)	971	950	920	857	769	562
	面積(アール)	53,225	51,706	51,603	50,136	46,764	41,287
畑	農家数(戸)	981	937	880	799	714	448
	面積(アール)	18,351	15,809	13,098	10,374	8,725	13,499
樹園地	農家数(戸)	215	129	58	47	36	18
	面積(アール)	4,938	2,984	1,228	1,018	790	553
合計	実農家数(戸) ●	1,034	993	966	895	824	567
	面積(アール)	76,514	70,499	65,929	61,528	56,279	55,339



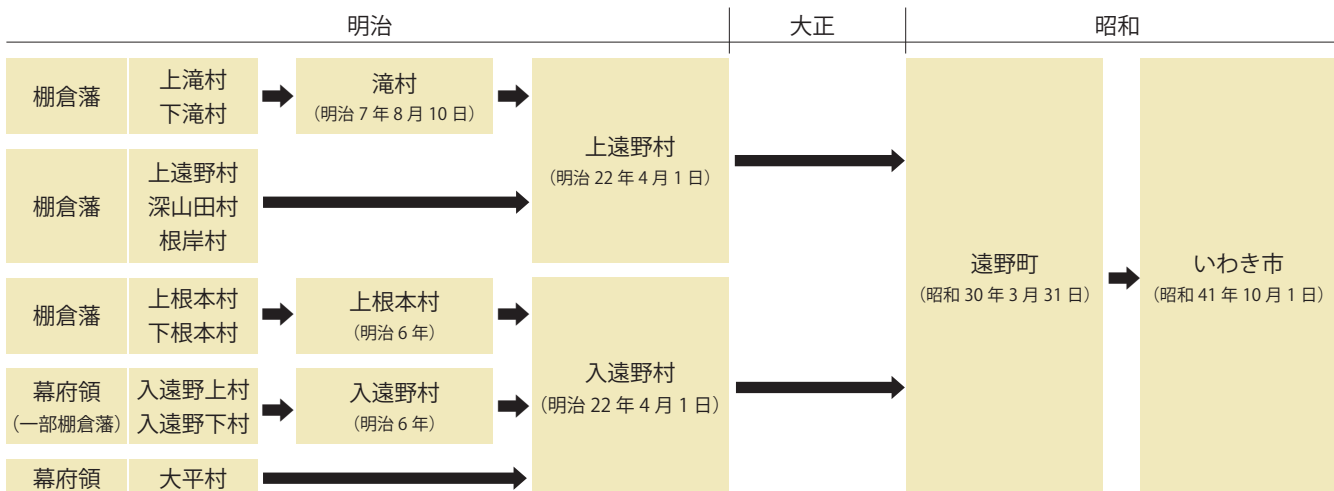
遠野に残る旧跡とそれにまつわる伝説

名称	内容
女橋[おなばし]の碑(深山田地区)	通りかかった少女が人柱となり、橋が洪水で流されなくなった…「女橋」伝説。
飛鳥井雅宜[あすかいまさのぶ] 卿邸碑(上遠野小)	中納言が3年間在住していた邸の跡と言われる場所に記念碑がある。
西光寺の漢誌碑[篆額=犬養毅]	いわき出身で日本有数の漢詩人・大須賀筠軒[おおすがいんけん]が根岸出身・櫛田勝次郎に捧げた漢詩が刻まれる。
根岸の馬頭尊塔(御齋所街道)	浜通りと中通りとを結ぶ街道沿いの大平入口附近に当地一の石塔が立っている。
鮫川堰記念碑[篆額=吉田茂]	鮫川堰が鮫川をサイフォン式で川底横断。その建設苦渋史が刻まれる。
西行法師巡錫の碑(龍神峡)	童の機知に富む句にふれ驚いて引き返した所…「西行戻し」伝説。
水戸黄門訪問の地(龍神峡)	水戸黄門が隠密にサツキを見に来たと思わせる古文書が残る(萬覚書)。
右近の桜(安養院)	江戸期の代官・駒木根右近ゆかりのしだれ桜と五輪塔がある。
朝日の里由来記	奈良の都から来た有宇中将が朝日長者の娘・寒月姫と結ばれて猿若丸という子をもうけた…「朝日長者」伝説。
徳溢[とくいつ] 大師御入定所碑(入定地区)	全国に4か所あるとされる僧・徳一墓のうちのひとつと言われている。
二本杉伝説(八坂神社)	いとこ同士の王子と姫が京から逃れ、悲恋の果てにここで死んだ。そして、二人の霊が大杉になった…「悲恋二本杉」伝説。
平子重郎平の首塚(東陽寺)	江戸期「楮子[こうぞ]騒動」の殉難者である平子重郎平の墓がある。
比だり矢壺の碑(御齋所峠)	寒月姫の子、猿若丸が、根岸から白鹿を追って難所の御齋所越えの際、右肩に掛けた矢壺が邪魔になり、左肩に掛けかえて切り抜けた。白鹿を追い続けてとうとう日光華厳の滝に行き着いた…「猿若丸・比だり矢壺」伝説。

遠野の歴史

縄文時代	冷水[ひやみず]遺跡(縄文時代後期 紀元前 2000 年)から出土した人面付きの石器は、非常にめずらしいもので、現在国立博物館に展示されている。 古く縄文時代から当地に人間が生活していた証である。
奈良～平安時代	伝説「朝日の里由来記」によると、奈良時代後期、当地は大野庄朝日長者[おおのしょう・あさひちょうじゃ]が領していた。 奈良の都から来た有宇中将[ありうちゅうじょう]が朝日長者の娘・寒月姫[かんげつひめ]と結ばれ、猿若丸[さるわかまる]をもうけた。 のちに、一家は上洛し、代わりに京から来た平子左近[たいらこさこん]がこの地を治めるが、故郷を懐かしみ、地名を葛野郷[かどのごう]と改めた。 京都市右京区(西京極)には、いまも葛野[かどの]という地名がある。
鎌倉時代	当地を含めた広い地域を下野国守護[しもつけのくにしゅご]・小山氏が領し、その一族・藤井氏がこの地を本拠地とした。 藤井氏は上遠野姓を名乗り、上遠野(現在の入遠野)に日ノ澤城[ひのさわじょう]を築いた。
戦国(室町)時代	中期、上遠野氏は、現在の上遠野に上遠野城(八潮見城)を築いて、日ノ澤城から移り住んだ。 後期、上遠野氏は勢力を拡大した岩城氏[いわきうじ]の支配下となる。
江戸時代	当初、上遠野郷十村は幕府領となるが、その後棚倉藩(主に上遠野地区)と幕領(主に入遠野地区)に分かれ、明治維新を迎える。
明治～昭和時代	明治 22 年の町村制施行で、上遠野村と入遠野村の 2 村となる。 昭和 30 年、2 村が合併して遠野町が誕生する。 昭和 41 年、広域合併を迎え、いわき市遠野町となる。

行政区域の変遷



遠野に残る風習と伝統の技

名称	内容
信仰風習	数は減ったが、十九夜講、庚申講、子待ち講などの風習が残る。
例大祭	各神社ではお祭りが行われ、神輿、舞などが催される。
じゃんがら念仏踊り	鐘、太鼓、横笛、舞による念仏踊りが各地に残る。
お月見どろぼう	中秋の晩に限り許される、子どもたちがお供え物を盗む行事が残る。
鳥小屋	竹の小屋(鳥小屋)を作り、正月飾りを燃やして送る行事が復活。
和紙漉き	深山田地区(1軒)。最盛期には400軒以上の農家で漉かれていた。
野鍛冶	上遠野地区(2軒)。鋏、万能、鉈、包丁等を製作している。
竹細工	根岸地区(1軒)。良質の竹を使い、ざる、かご等を製作している。
桶細工	大平地区(1軒)。漬物桶、味噌桶、梅干樽等を製作している。
藁細工	正月飾り、しめ縄、藁ぞうり等の技能が残る。藁人形(東山など)の風習もある。
炭焼き	雑木、竹等の炭を焼く煙が今も立ちのぼる。

遠野が誇る文化財

(参考:「いわき市教育委員会・指定文化財一覧表」「いわきの保存樹木・保存樹林表」ほか)

区分	名称	所在
県指定・重要文化財(彫刻)	木造聖観音菩薩坐像(円通寺)	遠野町上遠野字根小屋
県指定・天然記念物	八坂神社の二本杉	遠野町入遠野字天王
市指定・有形文化財(彫刻)	木造地藏菩薩半跏像ほか(円通寺)	遠野町上遠野字根小屋
市指定・無形文化財	いわき和紙製作技術(瀬谷安雄氏)	遠野町深山田字小石平
市指定・有形民族文化財	上遠野紙製作用具(遠野生活アートギャラリー)	遠野町入遠野字諏訪
〃	〃 (市遠野オートキャンプ場)	遠野町入遠野字越台
市指定・史跡	上遠野城跡[別名・八潮見城(八塩城)]	遠野町上遠野、深山田
市指定・天然記念物	大平熊野神社のムクロジ・サカキ群	遠野町大平字物見岡
市指定・保存樹木	川堀観音堂のイロハカエデ	遠野町深山田字川堀
〃	諏訪神社のスギ	遠野町根岸字橋場
その他	天王、冷水、大師堂、堀ノ内などの縄文遺跡	(各 地)
〃	日ノ澤城、亀岡城、陣ノ城などの城館跡	(各 地)
〃	みみずくの香炉[八潮見城主ゆかりの香炉]	(円通寺所蔵)
〃	官沢の枕状溶岩[ピローラバー、海底火山]	(市石炭化石館展示)
〃	冷水遺跡の人面付石製品[人面付石器]	(国立博物館展示)

遠野の現代施設、散策コース

名称	内容
市遠野市民運動場	抜群の水はけを誇る市民運動場で球技大会などが開催される。
市遠野オートキャンプ場	キャンプサイト、バーベキュー広場があるほか、各種イベントを開催している。
遠野生活アートギャラリー	民具展示のほか、伝統技能講座等が開催されるまちづくり施設。
八潮見城跡の散策	1～2時間の散策路が整備され、気軽に山城を探勝できる。
龍神峡の散策	もみじまつりが開催される紅葉の名所。溪谷美、希少植物なども楽しめる。
滝富士の散策	300 m程の富士山。ゆるやかな登山道が続き、親子三代で登れる。
入川溪谷の散策	紅葉の名所。山容を映す入遠野川ダム、花滝(三和町)もある。
官沢川 入遠野川支流	いわき清流十選(昭和 61 年)に選ばれた。
川釣り	ヤマメ、イワナ、アユ、ウグイ、オイカワなどが釣人を楽しませる。
アユの築場	シーズン中、鮫川本流と入遠野川の 2 箇所開設される。
川あそび	カヌー下り、河原の賑い、ゲンジホテル鑑賞など、川が身近にある。
往生山の山桜	山一面に山桜が咲き誇る。林道からの眺望ポイントが数箇所。
東光寺の大イチョウ	樹齢 100 年を超える 2 本のイチョウが立ち並び、境内に映える。
大藪の観音堂	かつては馬の産地である当地では唯一の馬頭観音堂である。
石塔巡り	十九夜、庚申、東堂山、湯殿山、聖徳太子、馬頭尊などの石碑が多数ある。
鉱山跡	石炭、銅、鉄、マンガンなどを採取した鉱山の跡が点在する。
工房の里	ガラス細工、尺八、インテリア行灯、木工品などの工房がある。
京都にちなんだ地名	東山、西山、北山、清水、四条内、有実、平口などがある。
お城にちなんだ地名	根小屋、堀切、風呂脇、中ノ町、本町、西町、白幡などがある。

地域資源(遠野の主な山と川)

名称	標高(延長)	解説
鶴石山	標高 767.5 m	遠野第一位の標高で、三和町境にある。
二ツ石山	標高 751.2 m	遠野第二位の標高で、三和町境にある。
往生山	標高 599.1 m	高僧が大往生した山といわれる。お山とも呼ばれる。
滝富士	標高 306.3 m	富士山に似ている山容で、地域から親しまれている。
御齋所山	標高 383.0 m	(田人町)御齋所街道を見おろす信仰の山。
鮫川(二級河川)	延長 65,041 m	市内第二位の延長で、鮫川村を源流とする。
入遠野川	延長 11,000 m	鮫川支流(入遠野地区を流域に持つ)
上遠野川	延長 6,265 m	鮫川支流(上遠野地区を流域に持つ)

(参考標高)

遠野支所	標高 80 m	遠野町根岸字白幡 40 - 1
入遠野公民館	標高 126 m	遠野町入遠野字前田 38 - 1



遠野の仏閣

名称	宗派	本尊	所在
妙光寺	臨済宗妙心寺派	釈迦牟尼仏	遠野町深山田字寺ノ代
蓮浄寺	日蓮正宗	日蓮大聖人	遠野町深山田字狩野
圓通寺	真言宗智山派	聖観音菩薩	遠野町上遠野字根小屋
東光寺	曹洞宗	釈迦牟尼仏	遠野町上遠野字堀切
西光寺	曹洞宗	阿弥陀如来	遠野町根岸字中妻
上遠寺	曹洞宗	聖観音菩薩	遠野町根岸字横道
安養院	真言宗智山派	不動明王	遠野町滝字西ノ内
建瀧寺	曹洞宗	釈迦牟尼仏	遠野町滝字房林
圓福寺	真言宗智山派	大日如来	遠野町入遠野字有実
東陽寺	真言宗智山派	十一面観音	遠野町入遠野字関屋
妙照寺	真言宗智山派	不動明王	遠野町上根本字小谷
瀧元寺	真言宗智山派	大日如来	遠野町大平字物見岡
大藪の観音堂(瑞念寺<廃寺>)			遠野町根岸字大藪

遠野のおもな神社

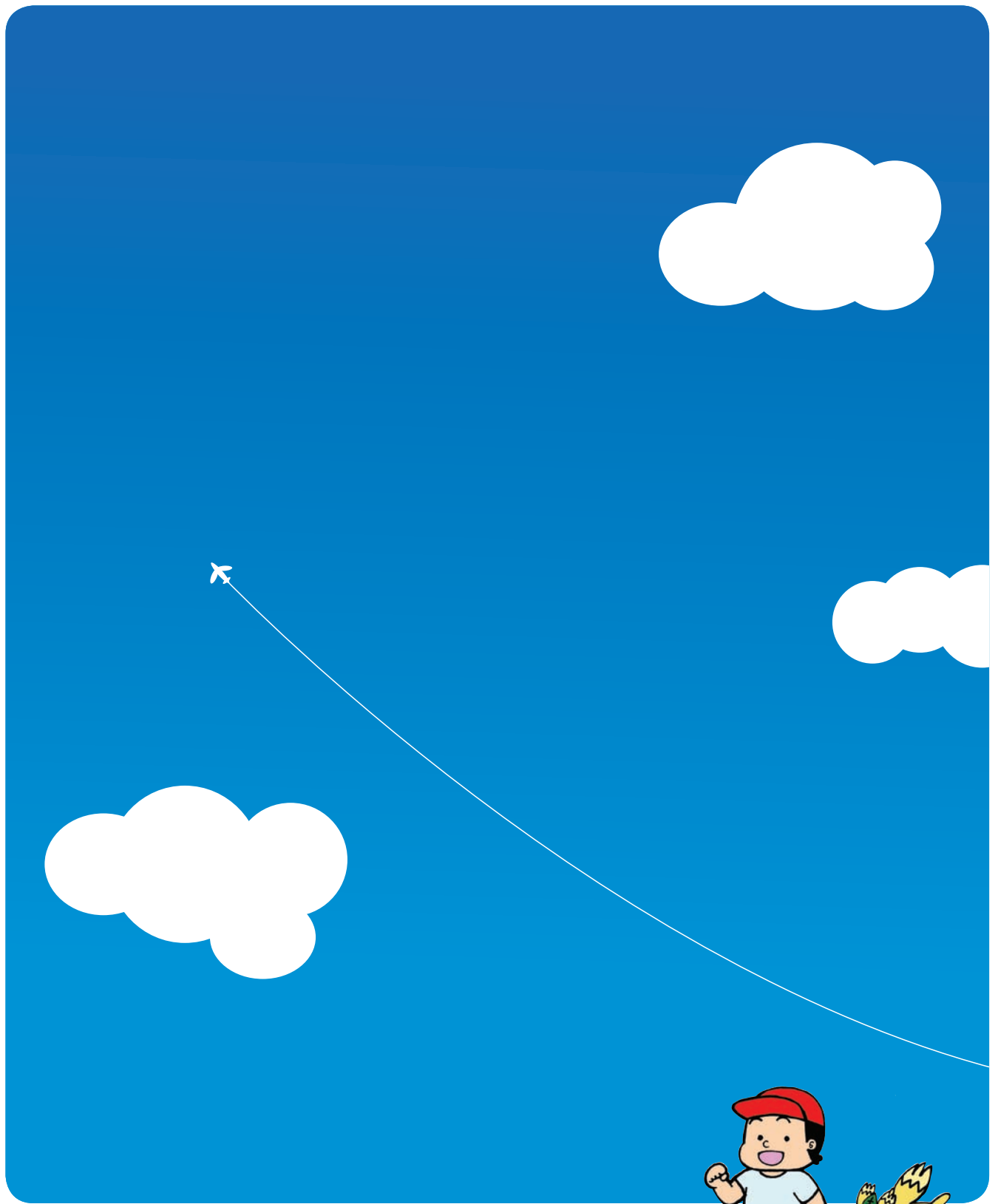
名称	所在
稻荷神社	遠野町深山田字稻荷林
八幡神社	遠野町上遠野字根小屋
諏訪神社	遠野町根岸字橋場
國魂神社	遠野町滝字小久保
八坂神社	遠野町入遠野字天王
鹿島神社	遠野町入遠野字関屋
幡之澤 大山祇神社	遠野町入遠野字東山
稻荷神社	遠野町上根本字下戸内
鎮西八郎為朝神社	遠野町上根本字矢本
熊野神社	遠野町大平字物見岡



まちづくり構想作成の歴史

これまでの活動内容

年度	内容	回数
14年度	{(仮称)川の家構想のリニューアルとして検討を開始した。} <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり構想推進委員会(以下「委員会」という)立ち上げの事前協議 委員会の開催 	1 8
15年度	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集、内容調整 	通年
16年度	<ul style="list-style-type: none"> 委員会の開催 委員会[分科会]の開催 委員会[編集会議]の開催 	2 8 4
17年度	<ul style="list-style-type: none"> 委員会と地域づくり振興協議会(以下「地区振」)の合同会議の開催 委員会[編集会議]の開催 	1 2
18年度	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集、内容調整 	通年
19年度	{(仮称)川の家構想のリニューアルではなく、平成18年度までの検討内容を踏まえながら、新たな構想として取りまとめることとした。} ※県いわき建設事務所のサポート <ul style="list-style-type: none"> まちづくり懇談会(一般参加者含む)の開催 地区振役員会の開催 	5 2
20年度	※県いわき建設事務所及び県いわき地方振興局のサポート <ul style="list-style-type: none"> 地区振総会の開催(中間案報告) まちづくり懇談会(一般参加者含む)の開催 まちづくり構想(中間案)の各世帯報告チラシ(意見用返信はがき付き) まちづくり構想(最終案)の各世帯報告チラシ(//) まちづくり構想(//)の全体報告会の開催(//) まちづくり意見公募のための「遠野ウォーク」の開催 まちづくりニュースレター発行 地区振役員会の開催 区長会への報告会(中間案、最終案) 構想編集打合せ 	1 5 1 1 1 2 3 2 2 随時



ほっとする 遠野の里構想

平成 21(2009)年春 発行

編集：遠野町地域づくり振興協議会編集班

発行：遠野町地域づくり振興協議会

(いわき市遠野支所内)

〒 972 - 0163

福島県いわき市遠野町根岸字白幡 40 番地の 1

Tel. 0246 (89) 2111

Fax. 0246 (89) 2823